

# 東風 HARUKAZE

令和2年12月15日発行

地域防災力を高める“顔の見える関係”

社会形成能力

## “笑顔の挨拶の輪”は『共助』の源

「天災（災害）は忘れたころにやってくる」

科学者で随筆家の寺田寅彦氏の言葉といわれています。しかし今は、

「天災（災害）は、忘れる間もなくやってくる」

と、とってもいいのではないのでしょうか。

昨年度のハイタッチ挨拶運動



様々なデータがありますが、1901-2000年の間で、地球の平均気温は1℃上昇しています。対策を施さないと、2100年にはさらに4℃以上上昇するとの説があります。

確かに、近年、しとしとと雨が降る「梅雨」のイメージは全くありませんね。秋の台風も巨大化していると言われます。海水表面の水温上昇に起因していることは間違いありませんが、47都道府県の中でも、福岡県は、特にその影響を色濃く受けています。

福岡県で、災害で命を落とされた方の99%は大雨が要因です。数十年に一度のはずの「大雨特別警報」は、4年連続で発令されています。（47都道府県で唯一です）

九州地方と山口県では、1時間に50mm以上の雨の回数も、この30年で平均約70回/年から約100回/年に増えています。年間約30回も増えているのです。もし、このまま平均気温や海水表面の温度が上がると、6月～10月にかけて「毎週2回大雨特別警報が出される」かもしれません。

11月7日（土）新宮東中校区減災の日に、大雨を想定した保護者引き渡し訓練を実施したのも、そこに理由があります。豪雨の中、本当に生徒の皆さんを引き渡すことになれば、保護者の方は、小学校や幼稚園・保育園にいるきょうだいも迎えに行かなければなりません。ベビーカーに乗った幼いきょうだいがいるかもしれません。災害はいつ・どのような状況でおこるかわかりません。

そのときに最も大切になるのが、『共助』の精神と力です。助け合える校区の力を、**地域防災力**といえます。**地域防災力**の重要な要素の一つが、校区の皆さんと「**日頃から顔見知りになる**」ことです。

下の生徒会スローガン横断幕にある「しなやかさをもち笑顔の挨拶の輪を大切にできる新宮東中」には、**縮災（レジリエンス）**と**地域防災力**の要素がぎゅっと詰まっています。

第2代生徒会役員の任期もあと僅かです。様々なことをしなやかに成し遂げてきた皆さんが追求してきた「**笑顔の挨拶の輪**」。『共助』の源をますます広げていってくれることを期待しています。



はるかぜ返信 40（担任にご提出ください。必ず校長まで届きます。封筒に入れていただいてもかまいません。）

生徒氏名

（ 年 組）

保護者氏名